

(6) 設備投資

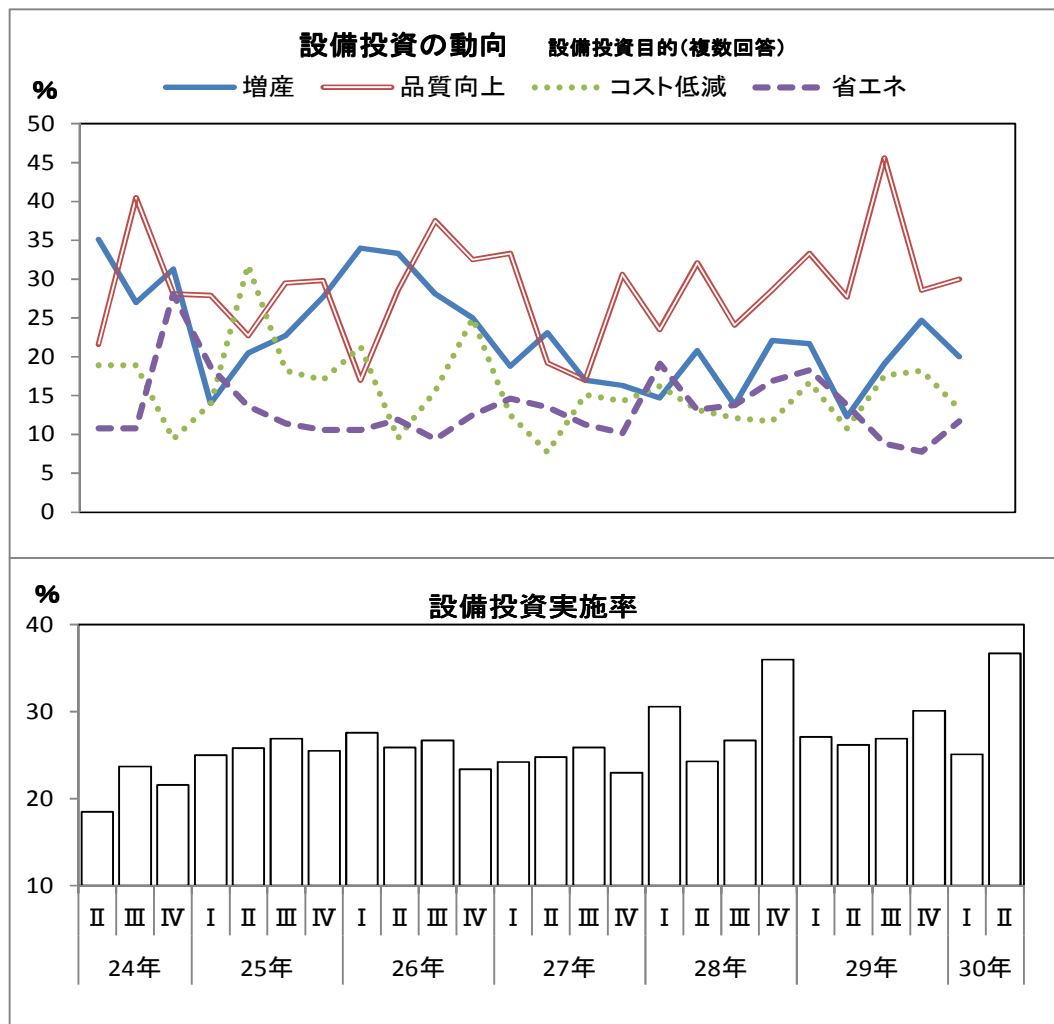
設備投資実施率については25.1%となり、前回調査より5.0ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは、「機械・機器」・「プラスチック製品」で、目的別では「品質向上」が30.0%でトップ、次いで「増産」が20.0%、「コスト低減」が13.3%、「省エネ」が11.7%の順となっている。

来期の設備投資計画率（30年4-6月期の設備投資計画）については36.7%となり、前回調査の33.0%から3.7ポイント上昇している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が10.3%、「下降」したとする企業が18.3%で、DIについては▲8.0となり、前回調査の▲0.9から7.1ポイント下降している。

【図表 13、14】

【図表 13】



【図表 14】

	設備投資			設備操業率 前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食 料 品	22.4	77.6	▲ 55.2	4.7	27.9	▲ 23.2
織 維	17.9	82.1	▲ 64.2	10.0	30.0	▲ 20.0
木 材	0.0	100.0	▲ 100.0	0.0	16.7	▲ 16.7
紙・加工品	0.0	100.0	▲ 100.0	14.3	21.4	▲ 7.1
窯業・土石	25.0	75.0	▲ 50.0	9.4	18.8	▲ 9.4
金 属	28.1	71.9	▲ 43.8	11.1	14.8	▲ 3.7
機 械・機 器	39.0	61.0	▲ 22.0	16.1	10.7	5.4
プ ラ ス チ ッ ク	33.3	66.7	▲ 33.4	11.1	0.0	11.1
合 計	25.1	74.9	▲ 49.8	10.3	18.3	▲ 8.0